時事新報

東京府會家屋税の決議

東京府にて明治二十年度區部地方税收入豫算議案を作りて之を府會の議に附し其家屋税に係る部分に建物の調査に於て除去す可きものは社寺堂宇及其祭典法用に供する所有建物、公私立學校救育所として使用する建物とあるを府會は此原案を取らず社寺堂宇の四字を神社の二字に改めて下文法用の二字を刪り、公私立學校の私の字を除き、詰り宮には家屋税を免して寺には之を取立て公立學校は無税にして私立學校は課税と定まりたるとなり我輩は何とも云はず唯其の議決に驚くのみ神社寺院無税ならば等しく無税なる可きに此間に神社を厚くして寺院を冷遇するは如何なる意味ならん宗教論上に神道と佛法とを比較して東京府會が神道の主義に左袒と申すこともなかる可し又東京府民を代表したる府會が府下に神道熱心の民多くして佛法の信者少なきが故に多數の民心を滿足せしむるが爲めに神社を無税にしたりと申す譯けにもあらざる可し左れば此外に何か特別の説明ある歟我輩の所見にては頓と思ひ當らざるが故に何とも云ふ能はずして唯驚くのみ又學校税の事に付ては流石に東京府は公私立共に無税にせんとの原案なりしに府會は之を折中して其一方に課税し公を見遁しにして私に取て掛ると彼の神社と寺院とに於ける筆法に異ならざれども公立學校は貧にして私立學校は富めりと云ふ譯にもあらざる可し如何となれば實際に於て公立學校は官の筋より厚く保護奬勵を被りて大抵ろの維持を立つ其反對に私立學校は一人若しくは數人の發起に係り十中の八九生徒の受業料などにて維持す可きにあらずして詰る所は其校主若しくは他の有志者の義捐金等に依頼するの常なれば實際に於て營業などとは思ひも寄らず單に人の慈善にあらざれば好事に出るものより外ならず公私貧富の由來明白にして是等の事情は東京府會に於て知らざるの道理あらざるなり又公立學校の敎育は一種特別の良敎育にして私立學校の敎育は甚だ不完全なりとは理由にもあらざる可し如何となれば人は學ぶ學問に公私の別なし其敎授法の良否を論じて極端を擧れば双方共に善良なるものあり麁末なるものあり私立の最上なるに至りては公立の企て及ぶ可らざるものさへ少なからざるは普く人の許す所にして私立の文字は以て學校の不完全を表するに足らざればなり又私立學校の中には至て見苦しきものありて九尺二間の長屋に學校の看板を掛け以て税を免かるゝとは不埒なりとの故を以て課税に決したることにもあらざる可し如何となれば府會の目的は收税に在りて人の心術を懲罰するの義務なし故に九尺二間の私立學校に税を課したらば其校主は大に恐入ることならんなれども其税金は以て何の足しにもならず詰る所學校建物税の正味は心術不埒ならざる慈善家又は好事家の設立したる廣大なる私立學校の負擔に歸す可ければなり右の外に何か説明ある可きや我輩の心付かざる所あれば何も云ふこと能はずして唯私立學校課税と聞いて驚くのみ此驚駭は獨り我輩日本人のみならず頃日或る外國人に面會したるに此人も我輩と同樣今回の一條に付き大に驚て其言ふやう日本に奇事奇物甚だ少なからず富士山の秀麗、櫻花の嬋娟、武家の双刀、男子の月代等萬國に比類なくして奇は則ち奇なりと雖ども畢竟日本國に固有する絶對の奇なれば之に慣れて永く驚く可きにあらざれども人民敎育の事は日本も西洋も正しく同一樣の方向に從ひ東西相對して比較も容易なる其中に日本人は英米諸國絶無の例外に事を決して人民私立の學校に家屋税を課したりとは扨々新奇にして東海新に一機軸を顯はしたるものと云ふ可し吾々は之を奇とすること富士櫻花双刀月代の比にあらずとて頻りに驚駭の樣子に見えたりしが成るほど我輩とても多少に驚きたり外國人の目を以て見たらば猶更ら左もある可きことなり大方の君子は我輩并に此外國人と共に驚くや否や若しも驚く可らざるの理由説明もあらば幸に垂敎を吝む勿れ

官報

○勅令

朕酒造税則中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治十九年十二月十六日

內閣總理大臣伯爵伊藤博文
大藏大臣伯爵松方正義

勅令第七十九號

明治十三年九月第四十號布告酒造税則第九條中「九月三十日限」トアルヲ「十月三十一日限」ト改ム

朕臘虎膃肭獸獵獲及其生皮輸入販賣規則ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

明治十九年十二月十六日

內閣總理大臣伯爵伊藤博文
內務大臣伯爵山縣有朋
大藏大臣伯爵松方正義
農商務大臣伯爵山縣有朋

勅令第八十號

臘虎膃肭獸獵獲及其生皮輸入販賣規則

第一條　明治十七年第十六號布告但書ニ據リ農商務大臣ノ特許ヲ得タル者ハ北海道廳ノ定メタル獵獲期限獵場區域內ニ於テ臘虎膃肭獸ノ獵獲ニ從事スヘシ

但獵獲ニ從事スルトキハ常ニ其特許狀ヲ携帶シ海陸何レノ場合ヲ問ハス獵獲監視官吏又ハ警察官吏ニ於テ檢閲セントスルトキハ直ニ之ヲ示スヘシ

第二條　臘虎膃肭獸ノ獵獲ニ從事スル者北海道ニ至リタルトキハ獵船ノ名、噸數、乘組人名ヲ北海道廳指定ノ出張所ニ屆出該道廳ニ於テ獵獲船ノ爲メ特ニ定メタル徽章ヲ常ニ船檣又ハ其他船部ノ見易キ位置ニ揭クヘシ

第三條　臘虎膃肭獸ノ生皮ヲ賣却セントスルモノハ之ヲ第二條ニ記載シタル出張所ニ差出シ當該官吏ノ檢印(烙印ヲ用ユルモ妨ナシ)ヲ受クヘシ其檢印ナキモノハ之ヲ賣却スルコトヲ得ス

第四條　前條當該官吏ノ檢印ナキ臘虎膃肭獸ノ生皮ヲ帝國諸港ニ輸入シ若クハ船舶ニ積載シテ帝國諸港內ニ滯泊シ又ハ市場ニ販賣シ或ハ販賣セントスル者ヲ發見スルトキハ稅關官吏又ハ警察官吏ニ於テ該物品ヲ差押ヘ直ニ告發スヘシ

但露西亞國及北亞米利加合衆國所轄內ニ於テ其政府ノ免許ヲ得テ獵獲シタル臘虎膃肭獸ノ生皮ニ於テハ船主又ハ船長タル者其國相當官吏ヨリ付與セシ證書若クハ本邦在留該國及合衆國領事ノ證明書ヲ差出シタル後該品ヲ帝國內ニ輸入スルコトヲ得

○帝國大學特待學生　法科、醫科、工科、文科、理科五大學に於て學力優等品行端正なるを以て本學年中特待學生とせし者左の如し(去月十五日特待生を罷む)

法科大學　法律學第一科第三年生柴原饒二、同第二年生平田讓衛、同小出鋼太郎、同第一年生犬塚勝太郎、同第二科第二年生城數馬、同横田秀雄、政治學科第三年生一木喜德郎、同第二年生木內重四郎、同第一年生朝比奈知泉

醫科大學　第四年生三浦謹之助、同芳賀榮次郎、第三年生平井政遒、同山極勝三郎、同多田貞一郎、第二年生伊藤隼三、同北川乙次郎、第一年生鈴木德男

工科大學　土木工學科第三年生近藤虎五郎、同長崎豐十郎、第二年生中山秀三郎、同野口粂馬、機械工學科第二年生朝永正三、同第一年生高辻奈良造、電氣工學科第三年生兒玉[illegible]、同第二年生三宅順祐、應用化學科第二年生和木松之助

文科大學　哲學科第三年生岡田良平、同德永滿之、同第一年生下山寬一郎、同大西祝

理科大學　物理學科第三年生長岡半太郎、化學科第一年生池田菊苗、動植物學科第一年生三好學、地質學科第三年生[illegible]小虎

雜報

○米國カロラード通信　(十一月二日發)　カロラード(Colorada)と云へる名は西班牙人の名づけたるものなり州の形は方形にして面積殆んど十三萬方英里人口八十有餘萬ありといへり千八百四十八年まではメキシコの領地なりしが當時同國の領地テキサス州が本國の管轄を脱して合衆國の聯邦に加はりしより事メキシコと合衆國との間に一大戰爭を生じ終にメキシコはアリゾナ、テキサス、ワイオミング、ニウメキシコ、カリホルニヤ、ネバダ、ユタ及び當カロラードの諸州を分割して合衆國に與へ和睦したるより合衆國の領地とは成りたるなり左れども當時は州と云へる名のみにして山には野獸ゐ野には雜草のみにて耕す人とてはなかりしが千八百六十年の頃より次第に移住するもの多く今日にては又昔日の觀を殘さざるに至れり地味は瘠土と云ふ程には非ざれども亦豐沃と云ふにも非ず殊に海岸を距る遙かの內地なれば水に乏しくして穀物に適當なりとは云ふ可らず住民も多くは牧畜を事業とし農業に從事するもの甚だ稀なり物產の重要なる物は石炭、鐵、金、銀、獸皮等にして其內石炭最も多量なりと云ふ又家畜小麥の產額に付て合衆國全州と當州とを比較すれば左の如し

	合衆國	(カロラード)
牛	三五九〇九八八一疋	三四六八三九疋
羊	三五一八四七七四疋	七四六四四三疋
豕	四七六八三九五一疋	七六五六疋
小麥	四五九四七九五〇五俵	一四二五〇一四俵

新聞紙の總數は二百五十有餘あり內レパブリカン黨はデンバル、トリビユン、レパブリカン及びロッキーマウンテンと稱するデモクラット黨の新聞等は重なるものなり實に米國人の新聞紙を購讀するは驚くべき程にて百姓とても二三種の新聞紙を購讀せざるものなしサンフランシスコよりニユーヨークに往復する鐵道は州の中央を橫斷し此本線よりカウンチー(米國のCountyは日本の村と粗ぼ相同じく大抵二十英方里乃至三十英方里あり)への支線幾條もありて何れのカウンチーにも鐵道にて行くを得べし此支線は州鐵道と稱して利得に係らず移住者を獎勵するが爲めに敷設せしものにして長き線は十五英里より二十英里ありと云ふ○デンバル府は州の首府にして州廳のある處なり市街は方形にして周圍殆んど十五英里人口七萬五千餘道路の幅狹き處は七十尺廣き處は百十尺に及び規模建築の好麗目を驚かす計りなり又市中を往來するには鐵道馬車及電氣作用にて進行する桑港のケブルに似て非なる鐵道あり夜に至れば市中到處に電氣燈を點し晝夜の如し又府內には二百有餘の蒸氣機關を有する製造所數箇あり其最も名高くして規模廣大なるをスメル會社とす該會社は數箇所の金銀鑛山を所有し採掘したる金銀を以て飾物或は器械に製して諸州及び歐州等へ輸出し居れり其建築は宏壯なる有名なるものにして高さ七層極めて壯麗なり學校は公立のデンバル大學と稱する一大學校ありて法學理學醫學文學工學等の諸科を授く(當州は合衆國中にて屈指の物價低き處なれば日本より留學するには最も適當なるべし府內街外れの處に下宿すれば一ヶ月十五六圓にて充分なりといふ)此外私立に係るものは醫學校商業學校外國語學校工事に屬する學校等あり又支那人は府內に千五百有餘名あり多くは洗濯或は家僕等を爲し居れども品行醜惡にして廉恥を知らず矢鱈に他人の物を欲しがり動もすれば奪ひ去らんとし大に人々に嫌はるゝことなり然れども賃錢は廉きと能く働くとにて使用せらるゝといふ

○上海商況　(本月二日付)上海商同會よりの報告に曰く時下北洋の貿易は既に北局と結びたり然れ共幸に本年は時季稍和暖にして未だ冷雨朔風の寒氣を添ゆるに至らざれば例年に比し大に凌ぎ能き方なり本年は天津の商人等手早く同地の貿易を切り上げ閉河の用意とてせし由聞きたりしが敢て手廻しの早きにあらず時季は例年より後れたるより結尾の區別判然たらず賣買双方に於て今に其見込を立て兼ぬるの現況なり然れ共其大局に至りては已に取片付きたる上外國爲換は昨今俄に勢力を占め是迄の如き低價の地位にあらざれば一体に變じたるものゝ如き現勢なれば北洋の未だ全く閉ざさるを期し奇利を得るに汲々たる者あれども已に大勢の去りたる後なれば別に市面を振作せしむるに至らず左れば當港の貿易は自今次第に閑散を報ずるの時機となるらん乃ち本週間各種の商況は左の如し

乾物類　前報後稍平穩の
たる品あれ共海參の內
貴にして其他は一体
報後不相換沈靜なりし
低價を顯し水牛皮は五
買直段兎角不折合にて
競賣と趣向を換へ既に
瑞典物十三兩三匁乃至
物九兩位にて十五箱賣
下た向きなれ共現場は
二萬五千箱の手合川來
萬箱なり○石、木炭天
なるを以て幾分か需用
荷の多きが爲め今日の
輸なく納束口も本月中
邦雜貨は輸入は僅かに五
產各種も今に入荷なし
炭は追々需用增加せしも
着荷は三池塊炭四艘高
變りなく沈靜の姿なり
なしと雖も長崎向きの
ものあり神戸横濱向きの
麥　は前報後引續き沈
往來するのみ新大豆は
十錢方の下落をなせし
海は前報後氣配益強く
倫敦近電に平穩紅茶に
ありしより氣配少しく
四百十番の品物は四百
去る十一月廿三日より
四百俵賣糸二百担野蠶
れ上進に連き少しく其
湘潭は着荷の品柄悪し
にて取引せり其他も大
なし此週間の紅茶取引
而て開市後の總取引高
五百六十六箱に及びた
ざるものとす又本月一
箱なり」綠茶平水は合
す上物は能く其價格も
何れも五匁乃至一兩一
は二五箱平水千五百五
四十一箱地廻り品二五
日の在荷は平水二五箱
五千六百四十五箱地廻
なり○地金類　北洋留
種の商況は例に據り並
も異狀なし○反物類
と出されたれ共最早餘日
過ぎたり英國物は一二
きの姿を顯はせり之に
テンク褒賞金巾等は大
し本品は重に北洋向き
路を絶ち天津も殆んど
は測るべからざも毛織物
の向きは双々上進を示
の次第にて別に報道を
台に於ては唐綿の取引
綿等も荷捌け甚だ宜
に回復れ色なしと云
勢を得て上進と示せ
異狀なし

○松山通信　(十二月
師日下部辨次郎同六笹
水害地視察中なりしが
捐金　兼て海南新聞社
號沈沒溺死人遺族者へ
あれと其出金の人員は
へ向ふて送りたる義
加はり四山は白雪の
せり○麥作　過般來の
麥の播種をなさず依て
民等は歡じ居れり○秋

火災保險金庫販賣廣告
弊店儀從來金庫製造販賣仕候處非常ニ繁榮仕候モ是皆四方諸君ノ御愛顧ヲ蒙ムル所以ナリ依テ今般定價ヨリ一層

來ル廿日弊商會ニ於テ仕立上タル洋服並ニ古器物競賣仕候間御來車御求メ可被下候

本校ハ大ニ改良シ熊澤善菴先生ヲ校長ト定メ此他有名學士數名ヲ聘シ懇篤ニ敎授ス今般本校初級

生徒當テ腦充血症ニ罹
一切貴聘ニ應スル能ハ
從前ノ如ク諸般ノ御依
明治十九年十二月